

For Our Stakeholders

地域金融機関としての責務の遂行を通じて、
ステークホルダーの皆さまとともに地域社会の持続的成長をめざします。
本誌は、株主及び投資家の皆さまをはじめ、当行をご利用の皆さま、
そして地域の皆さまに私たちの取り組みをご理解いただくとともに、
私たちから皆さまへのコミットメントとして発行します。

経営理念

1

お客さま・地域社会
との共存共栄を
めざします。

2

活気ある企業風土の
醸成を
めざします。

3

健全性の確保と
企業価値の創造を
めざします。

長期ビジョン

総合コンサルティング・グループの進化により、
地域のみんなとウェルビーイングな
社会を創造する

行動指針

- 対話を密にし、相互の信頼を深めます
- プロフェッショナルとして成長するための努力を惜しみません
 - 多様性(ダイバーシティ)を理解し、人権を尊重します
 - 環境の負荷軽減に努め、地域の活性化に貢献します
 - ステークホルダーの期待を超える行動を実践します

編集方針

百十四銀行は、当行グループの持続的な価値創造に向けた取り組みについて、財務情報と未財務情報の両面から、ステークホルダーの皆さまに分かりやすくお伝えすることを目的に本報告書を作成しています。

編集にあたっては、国際統合報告評議会（IIRC）が提唱する「国際統合報告フレームワーク」及び経済産業省の「価値協創ガイダンス」などを参考にしています。

なお、本報告書は、情報編(本報告書)及び資料編で構成され、銀行法第21条に基づくディスクロージャー資料（業績及び財産の状況に関する説明資料）を兼ねています。計数につきましては資料編をご覧ください。



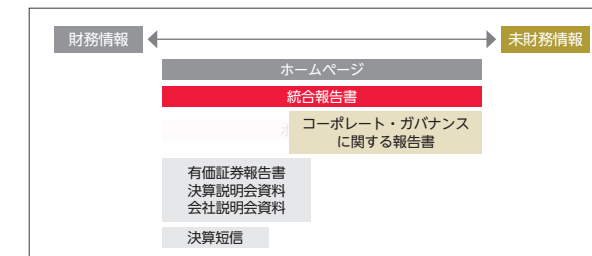
報告対象範囲

百十四銀行及びグループ会社

報告期間

2025年度（2025年4月1日～2026年3月31日）
一部内容に2026年度を含みます。

情報開示体系



表紙について

香川県高松市の当行本店ビルがモチーフです。
1966年の竣工当時、西日本で一番高いビルであったことに加え、日本で初めて採用された緑青のブロンズ板は、大変注目を集めました。
これまで、適切な維持保全や優れた改修を実施した建築物の中から優秀なものを選定する「BELCA賞」を2度（ロングライフ部門、バストリフォーム部門）受賞しています。

Contents

知る -Our identity-

- 01 For Our Stakeholders
- 03 百十四グループのあゆみ
- 05 At a Glance

想う -Our Purpose & Message-

- 07 トップメッセージ
- 13 財務担当取締役メッセージ
- 17 社外取締役×行員によるクロストーク

創る -Our Value Creation-

- 21 百十四グループマテリアリティ
- 23 百十四グループの価値創造プロセス
- 25 競争優位の源泉（当行の強み）
- 27 ステークホルダーコミュニケーション
- 29 150周年記念事業プロジェクトで未来志向をカタチに

挑む -Our Strategy & Transformation-

- 31 中期経営計画の変遷
- 33 中期経営計画の全体像
- マテリアリティに基づく事業展開
- 35 地域経済活性化への取り組み
- 40 人生100年時代への対応
- 43 多様な人材が活躍・成長できる環境の整備
- 47 DXの実現と地域社会のデジタル化
- 51 気候変動等、環境課題への取り組み
- 57 持続可能な経営基盤の構築

守る -Our Foundation-

- 59 コーポレート・ガバナンス
- 63 役員一覧
- 65 リスク管理及びコンプライアンスへの取り組み
- 69 企業データ